

平成26年度 学校自己評価システムシート (県立富士見高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人に行き届いたきめ細やかな指導を行い、地域に開かれ信頼される学校
--------	---------------------------------------

重点目標	1 生徒理解に基づきながら、生徒の基本的な生活習慣や規範意識等の育成と指導の徹底を図り、自立心を育む。 2 特進クラスなどクラス編制等や授業展開の工夫等により、学習指導体制を充実させ、生徒個々の確かな学力の定着と学力向上を図る。 3 地域社会との連携を深め、社会の一員としてたくましく生き抜く心と身体を育み、地域の核となる学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	5名

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月5日現在)		
年 度 目 標			年度評価(2月5日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	きめ細やかな生徒指導により規範意識を身につけた生徒が育成され、地域に信頼される学校となっている。一方、基本的な生活習慣の確立が不十分で、遅刻や欠席を繰り返す生徒も若干ではあるが見られた。また、昨年度は中途退学者数が前年度より増加した。今後も生徒の基本的な生活習慣確立と中途退学防止のため、全職員による粘り強い指導を続けていくとともに、家庭の協力を得ていく必要がある。	規範意識の向上とともに、基本的な生活習慣を確立させ、中途退学者数を減少させる。	①毎朝立哨指導を実施するとともに、毎月遅刻指導を実施する。 ②PTAと連携し、毎月「あいさつ運動」を実施する。 ③教育活動を理解してもらうため、行事毎に文書やメールで保護者に来校を呼びかける。 ④保護者面談を実施する。 ⑤問題行動の未然防止のため、日々の校内巡回や携帯安全教室や非行防止教室、全校集会、いじめ防止アンケート等を実施する。 ⑥学校生活に目的意識を持たせるため、部活動やボランティア活動、交流活動等を奨励する。	①欠席者率、遅刻者率の前年度比減少、皆勤者率の前年度比増加 ②年間11回の実施 ③学校行事への保護者参加率の増加 ④年1回以上の実施 ⑤生徒指導件数率の前年度比減少 ⑥中途退学者率の前年度比減少	概ね達成できた。 ①基本的な生活習慣確立のため、毎朝の立哨指導や毎月の遅刻指導を実施した。その結果、前年度より、欠席者率が減少し皆勤者率が増加した。 ②これまでに9回「あいさつ運動」を実施した。 ③学校行事の案内メールをこれまでに31回配信した(前年度11回)。その結果、体育祭やあいさつ運動への参加保護者が増加した。 ④保護者面談(6月)を全員に実施した。 ⑤日々の校内巡回の他、携帯安全教室(4月)、非行防止教室(6月)、全校集会(6月)、いじめ防止アンケート(5月、10月、1月)を実施し、問題行動の未然防止に努めた。指導件数率は前年度と同程度であった。 ⑥部活動やボランティア活動、交流活動等を奨励した。中途退学者率は前年度と同程度であった。(3月17日現在)	B	全校生徒の4割が皆勤者(2学期)であったことから、多くの生徒は基本的な生活習慣をしっかりと身につけている。また、来校者の方から挨拶や身だしなみがしっかりしているとの評価を得ている。一方で、遅刻指導や特別指導を受ける者が見られた。今後も規範意識の向上と基本的な生活習慣の確立に向けた取組を粘り強く実施していく必要がある。さらに、中途退学者が少なからずいることから、学校生活に目的意識を持たせる取組を実施していく必要がある。
2	少人数学級編制や習熟度別授業による個に応じた丁寧な指導により、昨年度は各種検定試験で難易度の高い級に合格するなどの成果を上げた。一方、授業の予習・復習を含めた家庭学習の定着が不十分な生徒が多く見られた。生徒の学力をさらに高めるため、質の高い授業を実施するとともに、1年生の段階から明確な進路目標を持たせ、家庭学習を定着させる必要がある。	1年生の段階から進路意識を高める取組を実施し、生徒の学力を向上させる。	①授業改善を図るため、授業公開週間や『未来を拓く「学び」推進事業』における公開研究授業、さらに授業アンケートを実施する。 ②基礎学力を定着させるため、定期考査前や長期休業期間に補習を実施する。 ③学力の向上とともに達成感を育むため、各種検定試験の受験を奨励する。 ④生徒の進路意識を高めるため、キャリアガイダンス等進路行事の内容を充実させるとともに、進学希望者に対し補習を実施する。	①授業公開週間の年2回(5月、11月)の実施 ①『未来を拓く「学び」推進事業』における公開研究授業の実施 ①授業アンケートの年2回(7月、12月)の実施 ②成績優良者率の前年度比増加 ②成績不振者率の前年度比減少 ③検定試験受験者率の前年度比増加 ③合格率の前年度比増加 ④就職内定率100%達成 ④大学進学者率の前年度比増加 ④進路未確定者数率の前年度比減少 ④全学年で進学希望者補習の実施	ほぼ達成できた。 ①授業公開週間(5月、11月)、『未来を拓く「学び」推進事業』における公開研究授業(11月)、授業アンケート(7月、12月)を実施し、授業改善に取り組んだ。 ②各定期考査前や夏季休業、冬季休業において補習を実施した結果、成績不振者率が減少した。 ③これまで行っていた「漢字検定」、「英語検定」、「ビジネス文書実務検定」の他、新たに「全商英語検定」や「珠算・電卓実務検定」を実施した。受験者率が増加し、多くの合格者を出した。 ④キャリアガイダンスの内容を充実させるとともに、進学希望者を中心に全学年で補習を実施した。就職内定率の100%の達成、大学進学率の前年度比増加、看護(5名)や公務員(4名)に合格者を出すなどの成果を上げた。	A	きめ細やかな学習指導により、全校生徒の2割が成績優良者となった。また、英語検定準1級合格者や昨年度に引き続きビジネス文書実務検定1級合格者を出した。さらにキャリアガイダンスの充実により進路実績において成果を上げた。今後も学力向上のため、達成感や成就感を味わわせる取組を実施していくとともに、生徒の進路希望を実現させるため、1年生の段階から進路意識を高める指導を実施していく必要がある。
3	地域清掃や市内行事へのボランティア参加、さらにフジミ・インフォメーションの回覧等により地域との連携が深まり、地域からの本校に対する評価は年々良くなっている。地域の評価と信頼をさらに高めるため、引き続き積極的な広報活動を展開していくとともに、地域への貢献活動を推進していく必要がある。	本校の理解が深まる情報を積極的に発信するとともに、地域との連携をさらに深める。	①近隣小学校や特別支援学校との交流活動を実施する。 ②各種地域行事等への参加を奨励する。 ③地域清掃活動を実施する。 ④ホームページによる情報発信を積極的に行う。 ⑤季刊広報誌「フジミ・インフォメーション」を発行する。	①近隣学校との交流活動年5回の実施 ①交流活動の参加者率の前年度比増加 ②地域行事への生徒参加人数 ③地域清掃の毎学期実施 ④ホームページの更新回数 ⑤「フジミ・インフォメーション」の年4回市内への回覧	ほぼ達成できた。 ①南畑小学校(1回)、つるせ台小学校(1回)、富士見特別支援学校(3回)の交流活動を実施した。前年度と同程度の参加者があった。 ②吹奏楽部や書道部など6つの文化部が各種市内行事に参加し、地域との交流を深めた。 ③2年生が1学期(4月)に、3年生が2学期(10月)に、1年生が3学期(1月)に地域清掃活動を計画・実施した。 ④ホームページをほぼ毎週更新し、9万4千件を超えるアクセス数が4月からあった。(3月17日現在) ⑤「フジミ・インフォメーション」を年4回発行し、6月、8月、11月、1月に富士見市内の自治会等に回覧した。	A	全職員による中学校訪問やホームページの更新、「フジミ・インフォメーション」の回覧による積極的な情報提供、さらに各種地域行事への参加を通じ、本校の理解が深まり、学校説明会・体験入学への中学生の参加者が昨年度より100名以上増加した(今年度709名、昨年度604名)。安定した生徒募集に向け、引き続き積極的な広報活動と地域への貢献活動を推進していく必要がある。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成27年2月10日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学校生活を高く評価している。情報発信に力を入れた結果だと思う。ぜひ、生徒会も情報発信に加わって欲しい。 ・コミュニケーションをクラス目標として掲げているクラスがある。良いことだと思う。 ・生徒は良く挨拶をしてくれる。 ・年度途中の意見や前年度の要望等を方策に取り入れるなど迅速に対応している。その結果が成果として数値に表れている。 ・校内がきれいに整理整頓されている。生徒が主体、生徒による企画が増えると学校の雰囲気が変わるのではないかな。 ・授業の様子から規範意識は育っている印象をもつ。9割の生徒はしっかりできている。残り1割の生徒の指導を丁寧をお願いしたい。 ・少人数・習熟度授業をもっと売りにできるように授業を展開すべきだと思う。生徒たちにより良い授業を提供して欲しい。 ・フリースペースの様な空間で学べるスタイルを取り入れてはどうか。授業を立体化して欲しい。 ・習熟度のレベル差が授業の内容からは見えてこない。レベルごとに内容を変えてもよいのではないかな。 ・1年生の早い段階から進路を考えさせるのは良いが、固定化して指導しない方が良い。 ・言語活動の大切さが言われている。生徒にいかに関心をもち、発言させるかが課題ではないかな。生徒が活動する授業の実施を期待している。 ・まじめに良くやっている。更に良い富士見高校にするためには、魅力的な授業をすることが必要。更に工夫して欲しい。 ・学校が元気になるために学校側は十分やっている。次は生徒会にがんばって欲しい。 ・地域活動では様々な人生を歩んだ人たちの交流から学ぶものは多いと思っている。 ・運動部の生徒にも地域活動に参加してほしい。今後も声かけていきたい。 ・地域も富士見高校には良い印象を持っている。今後も目的意識をもって地域活動に参加してほしい。 ・生徒会には宿題が出された。定期的に地域の介護施設等を訪問してはどうか。期待している。 ・年々活動の幅を広げていただいている。地域は富士見高校が良い学校だと実感できる場になっている。今後もがんばって欲しい。 	